

アートは“かがやき”北陸新幹線福井開業記念

第11回 森の作家展

水・粹・酔

2025年1月25日(金) - 3月2日(日)

会場 / 金津創作の森美術館 アートコア
時間 / 10:00-17:00 (最終入場 16:30)
観覧料 / 一般 500円 (400円)、65歳以上・障がい者 250円、
 高校生以下・障がい者の介護者 (当該障がい者1人につき1人) 無料
 ※ () 20人以上の団体料金

入居作家5人と創作活動を通して刺激を受け合う14人の作家達が、異なる素材によって共鳴し「水・粹・酔」の3つの文字から新たな工芸・アート表現を展開します。また、芦原温泉を掛け合わせた作品を通して、あわら市の新たな魅力を再発見できる展覧会。



▲ 前回の会場風景

■ 出展作家によるギャラリートーク

1月25日(金) 10:30-11:30
 会場=美術館 ミュージアム-1 料金=要展覧会観覧券

■ 作品解説 ※各回30分 ★印は、入居作家

- 1月25日(金) 14:00 *山田道信(信雄) / 竹工藝、近藤辰浩 / 墨彩画・スケッチ水彩画
 - 2月2日(日) 14:00 *大森正人 / 陶芸
 - 2月9日(日) 14:00 *山口紀子 / 作曲・音空間造形、岡 俊徳 / 建築
 - 2月23日(日) 14:00 *山野 宏 / ガラス工藝
 - 3月2日(日) 14:00 *松井勝彦 / 陶芸、熊野九郎右エ門 / 陶芸
- 会場=美術館 ミュージアム-1 料金=要展覧会観覧券



※参考作品 近藤辰浩(墨彩画・スケッチ水彩画) 松井勝彦(入居作家・陶芸) 大森正人(入居作家・陶芸)

展覧会のみどころ！ 空間を楽しむための照明計画

照明家・八木則之

入居作家5人とコラボレーションをされる多種多様な分野の作家14人の皆さんと、展覧会に参加できる事をとても楽しみに感じております。森の作家展の「照明」を言葉で表現するのは難しいのですが、あえて一言で例えるなら Ambience Lighting (雰囲気・環境に溶け込んだ照明)。改めて「照明とは？」と問われると「明るくする事」「明かりを当てる事」は Ambience Lighting として非常に重要なファクターになります。明かりを当てる事、当てない事によって生み出される作品の新たな世界観をお楽しみください。

アート&建築！ツリーハウスが完成。

金津創作の森の魅力向上に役立ててほしいと、株式会社金津技研（伊藤憲治代表取締役）様から創業50周年記念事業として、野外美術館(水辺の広場)にツリーハウスを寄贈していただきました。デザインの特徴の一つである大きな扉や窓からは、四季折々の美しい風景を楽しむことができ、子どもたちの遊び場として、また散策途中の憩いの場としても活用することができます。

【設計/デザイン】福井大学工学部建築・都市環境工学科



フォトコンテスト作品募集！

テーマ：“私が「光」を感じた瞬間”

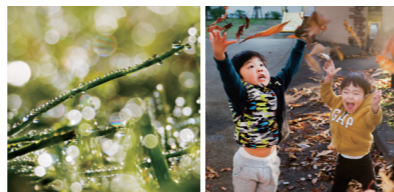
令和7年度冬の企画展「アートドキュメント2025 奈良原一高 写真展(仮称)」関連企画。福井県の認知度の向上や日常の身近なことからアートの発見のきっかけづくりとなるよう、また、写真文化の新たな層へのアプローチを目的に実施します。

美しい光は、爽やかな感情や落ち着いた印象を与えます。他にも心に希望や光明などを起こさせる物事を意味します。福井の風景や自然の美しさ、日常の生活の中で感じたこと、発見したことを写真で表現してください。

募集期間

令和7年1月25日(土)～令和7年12月中旬まで

居住地、年齢を問わず誰でも応募可能
 ※ 詳細は、ホームページをご覧ください。



参考画像

- (公財) 金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800
- 休館日 / 月曜日 (祝日の場合開館、翌平日休館)
- 森のキッチン・エフ TEL.37-4326
定休日 / 月・火曜日 (祝日の場合営業、翌平日休業) ※～1月24日(金)まで休業



災害時の水道協力体制を強化

◆12月6日(金) 市役所



洋式トイレ寄贈で地域に快適を

◆12月6日(金) 市役所



あわら三国ライオンズクラブから結成65周年を記念した地域貢献活動の一環として、舟津温泉公園のトイレに、男性用洋式トイレ1基・女性用洋式トイレ1基を寄贈していただきました。あわら温泉街の中心に位置する舟津温泉公園は、地元住民や多くの観光客に利用され、以前からトイレの洋式化が求められていました。寄贈を受け、水回りの環境が整い、より快適に利用いただけます。

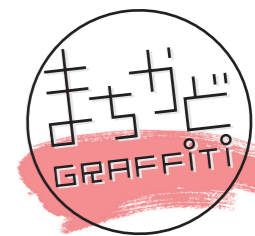
大谷選手のグローブで野球を体感

◆12月8日(日) 金津小学校



あわらルーキーズ jr.による小学1年生～5年生を対象にした野球体験会が開催されました。昨年、大谷翔平選手から贈られたグローブを使ってキャッチボール体験が行われ、ルーキーズ jr.のメンバーが「いいね」「おいしい」と励ましながら、丁寧にボールのとり方などを教えていました。参加者は、グローブを使って「楽しかった」、「また野球をしてみたい」と笑顔で話してくれました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！



市は、10月から包括委託しているメタウォーター、水道アセットサービス共同企業体と「災害等発生時における上下水道事業の支援協力に関する協定」を締結しました。今回の協定締結を機に、地震・風水害などの災害が発生した際に広域的な応援体制と上下水道業務の迅速かつ円滑な応急対応の確保につなげます。主な支援協力内容は、応急給水の補助や上下水道管路および施設の機能確保のための現地調査などです。

未来を創る！起業支援図書を寄贈

◆12月6日(金) 市役所



日本政策金融公庫福井支店からあわら市での創業に役立ててほしいと、「創業・起業に関する図書」を寄贈していただきました。寄贈を受け、森市長は「市内で創業や起業を考えている人は多い。参考になる文献があると助かります。」と感謝を述べていました。寄贈していただいた図書は、金津図書館で借りられますので、創業を考えている人はぜひお役立てください。

全国大会へ！高校サッカー激励会

◆12月16日(月) 市役所



第103回全国高等学校サッカー選手権大会出場選手の激励会が行われ、あわら市在住で福井商業高等学校3年の谷口 權我さん、坪田 太陽さん、2年の松田 琉音さんが出席しました。厳しい福井県大会予選を勝ち抜き17年ぶり2回目の全国大会出場となります。森市長は「怪我には気を付けて、頑張ってください。」とエールを送りました。